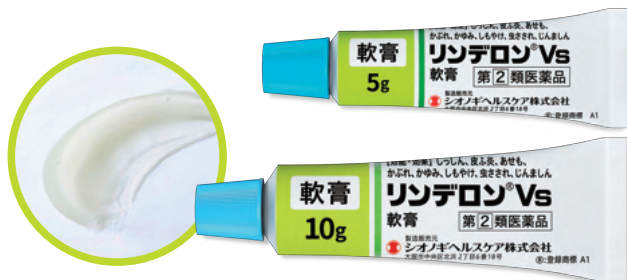


リンデロン®Vs 軟膏/クリーム/ローション 適正使用のためのチェックシート

監修 NTT東日本関東病院 皮膚科 部長 五十嵐 敦之 先生



軟膏

油性のため水などで流れにくい軟膏タイプ。
刺激性が少なく、保湿力が高いため皮膚の保護作用に
優れています。



クリーム

水分を加えたことでべたつきにくいクリームタイプ。
べたつきが少なく、のびが良く、水で洗い流しやすいです。



ローション

水分量が多く、さらっと
した使用感のロー
ションタイプ。
伸びがよく、頭皮な
ど有毛部にも適して
います。



本 剤は、しっしん、皮ふ炎、あせも、かぶれ、かゆみ、しもやけ、虫さされ、じんましの症状を緩和するステロイド外用剤です。本剤には合成副腎皮質ホルモンが配合されています。本剤を購入する前に以下のチェック項目をご確認ください。ご不明な点がある場合は薬剤師または登録販売者にご相談ください。

※水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし、化膿している患部、目や目の周囲、顔面の広範囲には使用しないでください。また、ステロイド外用剤の長期連用はお控えください。

はい・いいえでお答えください

① 下記の項目をご確認ください。該当する項目がひとつでもありますか。

- 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある
- 顔面の広範囲に使用する(500円玉大を超える範囲)
- ステロイド外用剤を長期連用している(1週間以上)
- 下記のいずれかの患部に使用する
水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし、
化膿している患部、目、目の周囲

いいえ

はい

このお薬を使用することはできません。

② 下記の項目をご確認ください。該当する項目がひとつでもありますか。

- 医師の治療を受けている
- 妊婦または妊娠している可能性がある
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある
- 患部が広範囲である(手のひら2枚を超える範囲)
- 患部がジュクジュクしていたり、ただれがひどい
- 深い傷やひどいやけどに使用する
- 現在、別の薬を使っている

いいえ

はい

リンデロンVsをご使用いただけます。

医師、薬剤師、登録販売者にご相談ください。

裏面もよくお読みの上
ご使用ください。

●5~6日間使用しても症状がよくなりえない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師、薬剤師、または登録販売者にご相談ください。長期にわたって連用しないでください。

※写真の色調は現物と多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

リンデロン[®]Vs 軟膏/クリーム/ローション ご使用時の注意事項

リンデロン[®]Vs 軟膏/クリーム/ローションの用法・用量

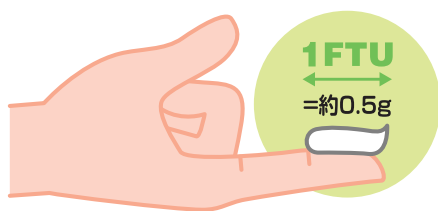
1日1回～数回 適量を患部に塗布してください。

塗り方のポイント

● 適量を塗る

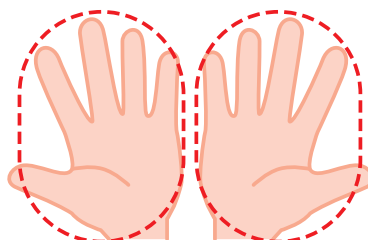
右記〈塗る量の目安〉を参考に適量を患部に、1日1回～数回塗りましょう。

● 軟膏/クリームの場合



大人の人差し指の先から第1関節までの長さ

● ローションの場合



1FTUは大人の手のひら2枚分の面積に塗る量に相当します

● 狭い範囲への塗り方

塗布する場合は指先に少量つけたお薬を患部にポンと置き、患部からあまりはみ出さないようにお薬がやや、テカる程度にやさしく塗り広げてください。擦り込む必要はありません。

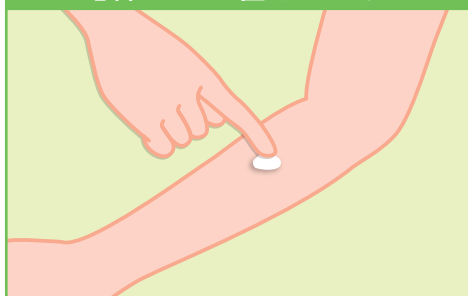
● やさしく塗る

患部にお薬をのせ、擦り込まずに患部全体にテカる程度に塗り広げます。表面がベタつく程度、ティッシュが貼りつくくらいが適量です。

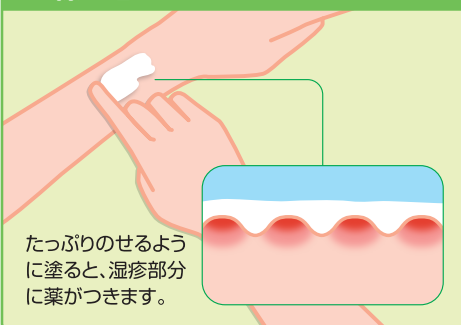
● 頭皮などの有毛部への塗り方 (ローション)

手のひらに薬を適量出し、できるだけ毛につかないように、患部に指で直接、やさしく塗りましょう。
※容器の口を患部に直接つけしないでください。
※よく振ってから使用してください。

少量つけたお薬を患部にポンと置きましょう。



擦り込まないようにしましょう。



注意!

目に入れないでください。

※目の周囲に長期に使用することで、眼圧が上がることがあるので、使用はやめてください。

ステロイド外用剤の副作用について

ステロイド外用剤は使用期間や塗布量など適正に使用いただいた場合は副作用の現れる頻度は高くありません。長期連用した場合などは、皮膚が白くなったり、薄くなる場合があります。また、水虫などの感染を起こしている部位に使うと症状が悪化することがあります。

使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください。

〔関係部位：症状〕 皮膚：発疹・発赤、かゆみ

皮膚(患部)：みずむし・たむしなどの白せん、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる

5～6日間使用しても症状がよくなる場合や悪化した場合はお薬の使用を止め医師、薬剤師、または登録販売者にご相談ください。

製造販売元

シオノギヘルスケア株式会社

「副作用被害救済制度」について

●(独)医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)

®：登録商標

資材コード RDVS-K-32

2022年2月作成